

静 広 美 平成 29 年度第 5 回理事会議事録

1. 招集年月日 平成 30 年 4 月 6 日（金）
2. 開催日時及び場所 平成 30 年 4 月 20 日（金）14 時 00 分 静広美事務所
3. 理事の数及び出席理事の数
理事 22 名 出席理事 13 名（委任状 6 名）
4. 出席理事の氏名
上村 計介 田中 治之 守屋勝博 堤 丈夫 水野 正隆 遠藤 栄一 野口繁明
小原義夫 山口多津也 内山隆之 守屋 一輝 仙田 治興 川上政年
5. 議長の氏名 上村 計介
6. 審議事項 「平成 29 年度決算報告書、平成 30 年度収支予算書並びに平成 30・31 年度理事・監事（案）、組織表（案）、年間予定表（案）の承認について」
「委員会改変について」
「第 50 回静広美通常総会 当日の日程と役割について」
「通常総会シナリオ（案）・議案書（案）について」
「第 1 回静広美 50 周年事業全体会議議案書（案）について」
「継続審議事項」
- 7 決議事項
 - ・「平成 29 年度決算報告書、平成 30 年度収支予算書並びに平成 30・31 年度理事・監事（案）、組織表（案）、年間予定表（案）の承認について」
決算書類については佐藤会計士が読み上げ説明した。田中監事が監査の報告をした。理事・監事案、組織案についても、書面で内容を確認した。一同異議なし。
 - ・「委員会改変について」 一同異議なし
 - ・「第 50 回静広美通常総会 当日の日程と役割について」
「通常総会シナリオ（案）・議案書（案）について」
資料を元に役割や段取りを確認した。今回の主管は浜松支部となり、司会は内山隆之支部長、議長は守屋一輝理事となった。
 - ・「第 1 回静広美 50 周年事業全体会議議案書（案）について」
組織について資料のとおり決定した。
（実 行 委 員 長）堤 丈夫 / 実行副委員長は各部長
（総務・財政部会） 部会長 小林 實 / 副部会長 田中利三、
部 員 野口繁明、森竹伸好、土田哲之
（式典・祝賀会部会） 部会長 守屋勝博 / 副部会長 内山隆之
部 員 守屋一輝、仙田治興、小楠峰男、川上政年、鈴木淑仁
（記 念 品 部 会）部会長 堤 丈夫/副部会長 藤田 一/部員 関野昌彦、櫻田 正、日吉 正
（記 念 誌 部 会） 部会長 田中治之/副部会長 小嶋義人/部員 菅沼大介、城内昭英
アトラクションは東中西部地区でそれぞれ出すのが良いということになり、未定の沼津支部には

早めに検討してもらい、会議当日には各部会より具体的な方針を発表することとなった。

記念品についての意見は以下のとおり。
「静広美」「看板」「官公需適格組合」「50 周年」等の屋外広告業組合としてブランド化につながるキーワードが入ったデザインを募集し、看板やステッカーを作り記念品とする。製作は組合内で行う。
キャラクターデザインも行う。組合員と従業員が参加できるコンテストで決定する等。

- ・継続審議事項
時間がなかったため、次回理事会に持ち越しとなった。
- 8. 報告事項
＜ア、支部報告＞
富士宮支部より・・・（田中監事報告）2 年に 1 度の交流会を予定している。
沼津支部より・・・（水野支部長報告）4 月 21 日支部総会を開催。
浜松支部より・・・（内山支部長報告）支部会を行い、50 周年のアトラクションについて検討している。ご当地アイドルや浜松工業高校のベリーダンス等。
- 9. その他
 - ・2029 年までの行事主管表について
静岡支部、中部支部、清水支部は中部ブロックとしてまとめることを各支部代表が希望した。また伊豆支部、北駿支部、三島支部も一つにまとめ、東部ブロックは沼津支部、富士・富士宮支部、上記 3 支部の合同として 3 つにわけるとよいという意見が出た。改めて表を組みなおし次回理事会でまた継続して審議することとなった。

その他、議案書のとおり。議長は、以上の議案審議を終了した。

時に 17 時 30 分

また、理事会終了後、賛助会員の(株)ニップコーポレーション、(株)ミマキエンジニアリングが商品説明会を開催。18：00 よりさかなや道場にて懇親会を催し、18 名が参加した。

上記のとおり議事の顛末を記録し、出席理事全員が記名捺印する。

平成 30 年 4 月 23 日

議長理事	上村 計介	㊟	理 事	田中 治之	㊟	理 事	守屋 勝博	㊟
理 事	堤 丈夫	㊟	理 事	水野 正隆	㊟	理 事	遠藤 栄一	㊟
理 事	野口 繁明	㊟	理 事	小原 義夫	㊟	理 事	山口多津也	㊟
理 事	内山 隆之	㊟	理 事	守屋 一輝	㊟	理 事	仙田 治興	㊟
理 事	川上 政年	㊟						